

物理工学コース 談話会

秒の再定義への貢献を目指したSr光格子時計の研究

18QC205 久井 裕介 (博士課程後期3年)

日時：6月9日 (火) 10:00～

場所：Zoom (ミーティングID: 496-193-0932)

光格子時計は「秒」の再定義の有力な候補として、世界各地の研究機関で研究が進められている原子時計である。光格子時計は現在の秒の定義を実現しているセシウム原子時計に比べて低い不確かさが報告されているが、一方でセシウム原子時計のように安定に長期運転することが大きなチャレンジである。また、SI単位についての取り決めを行う国際度量衡委員会 (CIPM) は、光時計による秒の再定義に向けたマイルストーンの1つに「定期的に国際原子時 (TAI) に貢献すること」を要請している。そこで我々はこのマイルストーンを達成できるようなSr光格子時計を開発し、不確かさの低減、Yb光格子時計との周波数比の測定、TAIへの貢献を目標としている。

どなたでもお気軽にご参加ください。パスワードについては世話人もしくは物理工学ユニット教員にお問い合わせください。
世話人：洪鋒雷 (内4320, hong-feng-lei-mt@ynu.ac.jp)